



# よこはま市工連

## YOKOHAMA SHIKOUREN

### No.92



## 目次

令和7年度 横浜市工業会連合会役員の紹介.....	1
令和7年度 横浜市工業会連合会 事業計画.....	3
「テクニカルショウヨコハマ 2025」.....	5
令和7年度(第38回)新入社員合同研修.....	6
令和6年度 新入社員フォローアップ研修.....	11
地域工業会 事務局紹介.....	12
令和7年度 横浜市予算に対する産業振興に関する要望についての回答.....	13
市工連からのお知らせ.....	15
横浜グランドスラム企業表彰者 会員紹介.....	16
横浜市経済局からのお知らせ.....	17
協賛企業広告.....	18

### 編集・発行

一般社団法人横浜市工業会連合会  
〒231-0023 横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル2階  
TEL. 045-671-7051 FAX. 045-671-7321  
URL : <https://www.y-shikouren.or.jp>



QRコード読み取り

### 発刊日

令和7年7月31日

### デザイン・印刷

有限会社双葉印刷所

# 令和7年度 横浜市工業会連合会役員紹介

令和7年6月25日（水）ロイヤルホールヨコハマにおいて、令和7年度第1回理事会・定時総会、第2回理事会が開催されました。令和6年度の事業報告・決算報告に加え、今期からの副会長及び理事の選任、各種委員会委員の決定などの議案がすべて承認されました。理事会の終了後には、退任された理事に工藤局長より表彰状、加藤会長より記念品が贈呈されました。

その後、会場を変えて役員懇親会を開催し、新旧メンバーで交流を図りました。



## 令和7年度 横浜市工業会連合会 役員名簿

役職名	氏名	工業会・役職	事業所・役職
会長	加藤 卓郎	みなと工業会 会長	株式会社加藤組鉄工所 代表取締役会長
副会長	黒田 憲一	戸塚泉栄工業会 会長	大洋建設株式会社 代表取締役社長
〃	稲村 直之	港南区工業会 会長	有限会社稲村建具 代表取締役
〃	長谷川 浩正	磯子事業会 会長	日興テクノス株式会社 代表取締役社長
〃	桐ヶ谷 修幸	神奈川工業会 会長	株式会社桐ヶ谷工業所 代表取締役
〃	山本 耕司	南事業会 会長	株式会社マック 代表取締役社長
理事	平 雅吉	一般社団法人横浜北工業会 副会長	三吉工業株式会社 代表取締役
〃	工藤 圭亮	横浜西部工業会 副会長	昭和建設株式会社 代表取締役
〃	横山 雅行	一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会 会長	平和産業運輸株式会社 相談役
〃	増田 孝一	横浜市金沢団地協同組合 理事	岡谷セイケン株式会社 代表取締役社長
〃	立川 道彦	鶴見区工業会 会長	株式会社鶴見精機 代表取締役会長
〃	鈴木 瑞貴	横浜青年経営者会 会長	株式会社オースズ 代表取締役
〃	工藤 哲史		横浜市経済局長
専務理事	吉田 雅彦		一般社団法人横浜市工業会連合会 事務局長
監事	猪鼻 久義		猪鼻会計事務所
〃	松村 洋一	一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会 副会長	協立金属工業株式会社 相談役

## 令和7年度 横浜市工業会連合会委員会名簿

委員会	役職	氏名	会社名	会社役職
総務委員会	委員長	黒田 憲一	大洋建設株式会社	代表取締役社長
	副委員長	小山 大輔	日本保安工業株式会社	代表取締役
	委員	粉間 崇	湘南造機株式会社	代表取締役
	〃	勝木 洋平	古河電気工業株式会社 横浜事業所	総務課長
	〃	金子 亨	日栄建設株式会社	代表取締役社長
	〃	成澤 宏	医療法人社団成澤会 清水橋クリニック	事務局長
	〃	栗原 敏郎	株式会社大協製作所	代表取締役会長
	〃	内藤 隆行	横浜セレモ株式会社	常務取締役
	〃	大瀬 雅博	大瀬工業株式会社	代表取締役社長
	〃	武居 正則	株式会社武居商店	代表取締役会長
	〃	椿 雄太	株式会社互省製作所	代表取締役
	〃	田島 圭一	株式会社田島精研	代表取締役

委員会	役職	氏名	会社名	会社役職
政策委員会	委員長	稲村直之	有限会社稲村建具	代表取締役
	副委員長	伊藤知之	日本貿易印刷株式会社	取締役会長
	委員	立川道彦	株式会社鶴見精機	代表取締役会長
	〃	田中秀一	メルビック電工株式会社	取締役
	〃	花本高志	株式会社ダイイチ	取締役副会長
	〃	岡部郁子	岡部産業株式会社	取締役副社長
	〃	達知剛志	株式会社プレスビット	代表取締役
	〃	鈴木孝敏	日鉄工営株式会社	代表取締役
	〃	黒澤一弘	株式会社IHI 横浜事業所	事業所長(兼)総務部長
	〃	真鍋緑朗	アールグラット株式会社	代表取締役
	〃	梶田兼一	株式会社カジタ	代表取締役社長
	〃	安永平雄	イチコーエンジニアリング株式会社	代表取締役会長(兼)CEO
	〃	高橋正徳	ヤマセ精機株式会社	代表取締役
事業・企画委員会	委員長	長谷川浩正	日興テクノス株式会社	代表取締役社長
	副委員長	向井一馬	三和化成工業株式会社	代表取締役社長
	委員	山口研二	井上鋼材株式会社	常務取締役
	〃	平出晴久	ゴールド文具株式会社	代表取締役
	〃	山口喜久雄	株式会社ヤマグチレッカー	代表取締役
	〃	浦野富士夫	株式会社セレバル	取締役
	〃	江藤忠勝	有限会社龍昇堂	代表取締役
	〃	柳沼芳光	株式会社柳沼建設	代表取締役
	〃	横山雅行	平和産業運輸株式会社	相談役
	〃	平雅吉	三吉工業株式会社	代表取締役
	〃	金子一彦	三宝精機工業株式会社	代表取締役
	〃	中山貴義	社会保険労務士事務所 古間屋	代表
	広報・産学委員会	委員長	桐ヶ谷修幸	株式会社桐ヶ谷工業所
副委員長		山本公彦	株式会社丸屋神奈川製作所	代表取締役
委員		磯崎洋人	神奈川トヨタ自動車株式会社	渉外広報部理事
〃		関曙慶	曙建設株式会社	会長
〃		菊地純恵	大坪工業株式会社	代表取締役社長
〃		橋爪重信	新倅機材株式会社	代表取締役
〃		杉山大輔	株式会社三興ネーム	代表取締役
〃		宮裕之	東京ガス株式会社 根岸LNG基地	総務部長
〃		穴倉澄人	株式会社シシクラ	取締役社長
〃		大村直樹	横浜鉄工株式会社	代表取締役社長
〃		田中大成	ティエスエス株式会社	代表取締役
〃		今津太郎	阿蘇工業株式会社	代表取締役
〃		南川拓也	株式会社ミナミ技研	代表取締役
雇用・環境委員会	委員長	山本耕司	株式会社マック	代表取締役社長
	副委員長	久保田耕二	久保田建設株式会社	代表取締役
	委員	石井一登	石井建設工業株式会社	代表取締役社長
	〃	小島誠太	日産自動車株式会社	担当部長
	〃	湯川正純	株式会社ヘルツ	代表取締役
	〃	坂本保	株式会社坂本興業	常務取締役
	〃	日野原技	株式会社村山製作所	代表取締役
	〃	黒岩勉	株式会社羽後鍍金	代表取締役
	〃	藤枝慎治	株式会社グーン	代表取締役会長
	〃	加藤豊	第一カーボン株式会社	代表取締役
	〃	北田英貴	株式会社ブリヂストン 横浜工場	総務部長
	〃	河上洋平	株式会社中越工業	代表取締役社長
	施策検討会	委員	小林真一	小林商工株式会社
〃		佐藤正憲	株式会社高木	代表取締役
〃		高橋幸夫	かちどき特許事務所	所長
〃		高木康志	高木特許事務所	所長
〃		高野一哉	有限会社高野塗装	代表取締役
〃		黒田裕太郎	港南テクノクス株式会社	代表取締役
〃		梗間政幸	シナノ紙工株式会社	代表取締役
〃		工藤圭亮	昭和建設株式会社	代表取締役
〃		田口真弘	株式会社金剛コルメット製作所	総務部次長
〃		兎玉聖司	株式会社ワン・ツー・ストック	代表取締役
〃		増田孝一	岡谷セイケン株式会社	代表取締役社長
〃		加藤亮	株式会社ホープ	代表取締役
〃		加藤高智	有限会社工研	代表取締役
〃	西端望	一般社団法人LTRコンサルティングパートナーズ	中小企業診断士	
〃	鈴木瑞貴	株式会社オースズ	代表取締役	

※令和7年6月25日現在

# 令和7年度 横浜市工業会連合会 事業計画

横浜市工業会連合会（市工連）では、令和7年度（2025）、「Ⅰ ものづくり活性化事業」、「Ⅱ 産業振興施設の管理運営」、「Ⅲ 市工連及び地域工業会の活性化」、「Ⅳ 法人運営（法人会計）」の4つの柱で事業を進めます。

## I ものづくり活性化事業 [24,929千円]

### 1 販路拡大事業

神奈川県下を対象にした大型商談会の開催のほか、受発注情報の整備・充実を図り販路拡大を促進し、第47回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2026」では、成長産業分野の振興や小規模企業の需要開拓など機能充実を図ります。

#### (1) 商談会等の開催

(公財)神奈川産業振興センター等に協力し、受発注商談会を開催します。

ア 受発注商談会 「オール神奈川」（後援）

開催予定：オンライン

イ 受発注商談会 「テクニカルショウヨコハマ2026」に合わせて開催

開催方法：リアル

#### (2) 工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2026」の開催

(公財)神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催で工業技術見本市を開催します。

開催日：令和8年2月4日(水)～6日(金)

開催方法：リアル

#### (3) 横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の運営

ネットワークプラスによる企業のビジネスチャンスの拡大を促進します。

※ネットワークプラスとは

市工連ホームページにおいて、事業内容・製造能力・技術等に関する登録会員企業のPRをし、発注企業や研究機関等が登録企業を業種別・加工種別・キーワード別に検索・閲覧できるシステムです。

#### (4) 横浜市との事業連携

横浜市が経済成長戦略として進める、様々な施策について、会員への周知等、横浜市と連携して事業を推進します。

## 2 ものづくり人材育成支援事業

### (1) 新入社員合同研修

マナー研修のほか、「帆船日本丸」での甲板みがき、マスト登り、漕艇等の訓練を取り入れた合同研修で、チャレンジ精神や協調性を養成し、企業の将来を託せる人材を育成します。

日程：令和7年4月3日(木)～4日(金)

会場：帆船日本丸及び同訓練センター

### (2) 新入社員等フォローアップ研修・交流会

今年度入社された新入社員や中途採用で入社された方など、入社2年目までの若手社員を対象に、会社の戦力として活躍する人材育成と、参加者の同世代ネットワークの形成を支援します。

### (3) 就職に関する懇談会の開催

県立高校等の進路指導担当教員と市内中小企業の経営者や採用担当者等を対象に、横浜市及び公共職業安定所との共催で、企業の採用情報や生徒の就職状況等の情報交換(懇談会)を開催します。

日時：令和7年6月10日(火) 14:00

会場：横浜産貿ホール マリネリア

### (4) ものづくりの魅力を伝える事業

ア 出前講座の開催

経営者や技術者が、高校生・大学生や職業訓練生に対し、中小企業の仕事ややりがいについて講演します。

イ 工場見学会の開催

就職指導教員と高校生・職業訓練生等を対象に、市内中小企業の工場見学会を開催します。

ウ テクニカルショウヨコハマ見学会の開催

神奈川県内の高校生を対象に、出展企業が高校生からの質疑応答を受けつつテクニカルショウヨコハマを見学する見学会を実施します。

### (5) 技術者育成支援事業

中小製造業の礎となる人材育成、社内の技術力向上、技術承継の推進のため、従業員の技能資格取得に対して、受検等にかかる費用を助成します。

#### (6) PR動画作成支援事業

若者に対する製造業等の理解を深め、興味を持てるようなPR動画を作成し、見てもらうことで製造業等への若者の就職を促進し、ものづくりの担い手となる人材の採用を行うためのPR動画制作費用の一部を助成します。

#### (7) 多様な人材活用の支援

製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、女性、高齢者、外国人など多様な人材の活用に関する情報提供を実施します。

#### (8) 中小企業の人材確保支援事業

製造業をはじめとする市内中小企業の人材確保を支援するため、横浜市経済局等と連携して事業を推進します。

## II 産業振興施設の管理運営

**[82,166千円]**

### 1 試作用賃貸スペース（鳥浜トライ&トリアルステージ）事業

同スペースで新製品の開発や新規事業分野への参入を図る中小製造業を支援します。

- ・所在地：横浜市金沢区鳥浜町16-6
- ・施設内容：全5区画（1,265㎡）

### 2 横浜産貿ホール(マリネリア)の管理・運営事業

横浜産貿ホールを管理・運営し、産業と貿易に関する見本市や展示会などの開催の場を提供することで、県・市内の産業の発展を支援します。

- ・所在地：横浜市中区山下町2番地  
産業貿易センタービル
- ・施設内容：1F 展示場（1,630㎡）  
2F 小展示室（70㎡）

## III 市工連及び地域工業会等の活性化の取組

**[10,610千円]**

### 1 5つの委員会を設け、各種事業を検討・実施

- 総務委員会
- 政策委員会
- 事業・企画委員会

○広報・産学委員会

○雇用・環境委員会

### 2 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援

地域工業会及び横浜青年経営者会へ助成金を支出します。

### 3 基盤整備事業

#### (1) 横浜市等と当連合会との施策検討会の運営

#### (2) 「令和8年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」を策定・提出

### 4 すぐれたアイデア提案者表彰

会員企業における、技術開発、生産性の向上、経費節減等において「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を顕彰します。

### 5 会員企業等のネットワークの活性化

#### (1) 会員企業間の情報交換の場の創出

賀詞交歓会開催にあたって、広く会員企業への参加を呼びかけます。

#### (2) 各委員会の交流の活性化

### 6 情報発信事業

#### (1) インターネットの活用

ホームページ、メールマガジン等でタイムリーに情報提供します。

#### (2) 機関誌等の発行

ア 機関誌「よこはま市工連」を年2回発行し、各種情報提供と会員の交流を図ります。

イ 情報紙「市工連かわらばん」を年6回発行し、各種事業について周知を図ります。

### 7 会員サービス事業

「災害共済」などの各種福利厚生事業を実施するとともに、市工連独自のPL保険への加入を促進します。また、団体割引等の取りまとめなどを実施します。

### 8 横浜市事業の周知・啓発

現在、横浜市経済局が推進する「脱炭素取組宣言」をはじめ、横浜市の各種施策・取組等を地域工業会に周知・啓発し、横浜市と連携を図ります。

## IV 法人運営（法人会計）

**[3,955千円]**

総会・理事会の開催などにより、市工連を運営します。

# 「テクニカルショウヨコハマ2025」

2月5日(水)～7日(金)までの3日間、パシフィコ横浜展示ホールで「技術を創る 未来を創る」をテーマに、最先端の技術・製品が一堂に会する、首都圏最大級の工業技術・製品に関する総合見本市「テクニカルショウヨコハマ2025」が開催されました。

開会式では、来賓 および多数の出展者の参列があり、神奈川県 黒岩知事、横浜市 佐藤副市長、公益財団法人神奈川産業振興センター 武井理事長、一般社団法人横浜市工業会連合会 加藤会長の挨拶に続き、テープカットを行いました。

会場内で最大のスペースの「横浜ものづくりゾーン」は、メイドインつづき（都筑区）、

LINKAI金沢（金沢区）、横浜青年経営者会、個別出展などのブースに分かれており、市工連会員企業の方も出展していただきました。



**次回は令和8年2月4日(水)～6日(金)開催予定**

## ●開催概要

- 【会 期】 リアル展示：令和7年2月5日（水）～7日（金）  
出展者PRページ（公式HP内）：令和7年1月14日（火）～2月28日（金）
- 【会 場】 リアル展示：パシフィコ横浜展示ホールA・B・C  
出展者PRページ（公式HP内）：テクニカルショウヨコハマ公式ホームページ
- 【開催規模】 810社・団体（リアル805社、Webサイトのみ5社）（前年度：807社・団体）

## ●来場者数

- 【リアル展示】 17,602名（昨年18,176名）
- 【Webサイト内展示】 アクセス者数 25,937名

## ●今回の特徴

- ・18社・団体の協力による主催者特別展示コーナーを設置
- ・主催者・併催セミナーを開催、展示会場内の特設セミナー会場にて主催者セミナー、出展者セミナー会場(A、B、C)にて出展者セミナーを開催

## ●アンケート結果

### 1 満足度について

	リアル展示	オンライン展示
満足	30.3%	18.7%
やや満足	42.6%	16.0%
普通	20.5%	61.0%
やや不満	5.6%	3.4%
不満	1.0%	0.9%

### 2 出展成果について

	リアル展示	オンライン展示
期待以上の成果があった	7.4%	1.9%
成果があった	31.2%	5.8%
多少成果があった	47.6%	19.6%
成果がなかった	8.4%	27.6%
わからない	5.4%	45.1%

### 3 引合いについて

	リアル展示	オンライン展示
引合い・問合せがあった	83.0%	17.4%
引合い・問合せはなかった	17.0%	82.6%



高さ3mのメインマーカーを設置



横浜ものづくりゾーンには81社が出展

# 令和7年度(第38回)新入社員合同研修

今回で38回目を迎える市工連主催の「新入社員合同研修」。帆船日本丸の海洋教室の訓練を含む合同研修によってチャレンジ精神や協調性を養い、企業の将来を託せる人材を育成することを目的として、4月3日(木)～4日(金)に開催されました。

今回は18歳から26歳までの6社41名(男性38名、女性3名)が参加。研修では、講義やグループワークでビジネスマナーを学ぶとともに、ロールプレイで電話応対や役割を決めての報連相を行いました。夕食前には日本丸に宿泊するための居室準備(ボンク(ベット)メイク)を二人一組で行い、夕食後にも講義を行いました。

また、「帆船日本丸」の海洋教室として、日本丸のビデオ鑑賞や船長の講話を聴くとともに、朝の甲板磨き、マスト登り(登檣:とうしょう)訓練、船首渡り(バウスプリット)訓練、ロープ結び(結索)訓練、カッター訓練に参加しました。マスト登りで

は、ヘルメットやハーネスを装着し安全にも十分配慮し実施しました。

第1日目は雨天の為、講義を集中して行い、第2日目は海洋教室を行いました。

この研修は、受講生の皆さんや参加企業様の満足度の高い研修ですので、来年度も是非ご参加ください。参加企業様のアンケートをご覧ください。(10頁)



〈グループワーク〉



〈マスト登り〉

## <研修カリキュラム>

《第1日目》 4月3日(木)	午 前	* 開講式(加藤市工連会長他の挨拶) * マナー研修(講義、グループワーク、ロールプレイ)
	午 後	* 船内見学/日本丸のビデオ鑑賞 * 電話応対(自分の声を聞き、電話の話し方を学ぶ) * 居室準備(ベットメイク)/避難訓練
	夕食後	* 報連相(講義、グループワーク、ロールプレイ)
《第2日目》 4月4日(金)	午 前	* 甲板磨き * 船長の講義「社会人として最低限守らなければいけないこと」 * 登檣訓練(マスト登り)、バウスプリット(船首渡り)
	午 後	* 結索訓練、カッター訓練 * 感想文作成、口頭発表会 * 閉講式・認定書授与

## 新入社員合同研修を受講して

(会社名等：50音順)

### 海洋電子工業株式会社

(横浜市金沢団地協同組合)

#### 川崎 勝紀さん

私は本研修を通して「仲間と交流する大切さ・仲間と協力する大切さ」を深く実感し、学びました。

最初に「仲間と交流する大切さ」で大きく印象に残った出来事として、「登橋訓練・マナー講義」が挙げられます。登橋訓練では、登り切りトップ台まで登橋する自信が無かったのですが、先に体験した仲間から怖かった箇所や気を付けるべき点を教えてもらい、実践することで訓練をやり遂げることができました。また、マナー講義では、一緒に練習に取り組む仲間と密に会話をすることができ、その人の人柄を知ることによってアドバイスがしやすく、受ける時よりも伝えたいことを感じるできるようになりました。このことから、仲間と交流することは互いに話しやすく・アドバイス情報交換しやすくできる・環境を過ごしやすいことだと分かり学ぶことができました。

次に「仲間と協力する大切さ」で印象に残った出

来事として「様々な実習・カッター訓練」が挙げられます。様々な実習では、結索訓練の時に、仲間と共に考え解決策を共有することで素早く行うことができ、私がいまいち分からない時にも仲間に見せて教えてもらい理解を深めることができました。他にもマナー実習では要点を共に確認し共有することで、1人で考える時よりもより良い発言ができました。また、カッター訓練では、一人一人が自分の思う良い体の使い方・タイミングを考え実行するだけでなく「周りの動きを確認し、それに自分の動きを合わせていく」を意識することでよりスピードが上がったのを実感しました。このことから仲間と協力することは会話をして合わせるだけでなく様子を確認し動きを合わせることもそうであると発見・学びました。

私は本研修で実感し学んだこと・体験したことを胸に刻み、社会生活でそれを基に活動し、より成長をします！



〈ボンクメイク〉

### 海洋電子工業株式会社

(横浜市金沢団地協同組合)

#### 古谷 政樹さん

新入社員研修に参加して、私は大きく3つの事を学びました。

1つ目は「協力することの大切さ」です。ビジネスマナー講座では、グループで活動する中で、役割を決め進めていきました。私は班をまとめるリーダーに自らなり、課題に取り組む中で困難に直面した時、やはり頼れるのは班の仲間でした。資料をまとめている間に議論を進めてくれたり、方針に迷っていると助言もしてくれました。座学だけではなく、マスト登りでは、ハーネスの付け方を共有して次に備えたり、帽子を付け忘れていけば注意しあったりと細やかな所でも協力の大切さを感じました。

2つ目は「仲間を頼ること」です。1つ目にも通ずる部分もあるのですが、一番実感した場面は、ボンクメイク※と片付けの時です。メイク、片付けの両方で1人でやるには困難だった時、同じ部屋の仲間に声をかけると、嫌な顔一つせず協力してくれ

ました。自分から頼ることによって、相手からも頼ってもらえるようになりました。頼る事はただ自分が楽になるためのものではなく、互いに協力し合える関係作り役立つものだと考えることができました。

最後3つ目は「積極的に行動すること」です。学生時代は受け身でも、誰かが代わりにやってくれる。待っていれば指示がくる。それは社会では全く通用しないと感じました。前記した協力や頼ることも、自ら積極的に。その他にも、挨拶や質問など全てにおいて積極的に行動していれば、周りの人も気持ち良く安心して社会生活を送れると感じました。どれが欠けてもいけないと思います。今回学んだ事を実践していき、海洋電子工業の社員として一人の社会人として社会に貢献していきたいと考えています。

※ボンクメイク…ベットメイク。毛布やシーツの正しい使い方を説明後、二人一組で狭いベットに合わせた寝袋のような形を作る

三波工業株式会社  
(一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会)  
池田 敬磨さん

私は今回の日本丸における新人研修の中でとても大切だと思ったことは3つあります。

1つ目はビジネスマナーの大切さです。今回の研修では4人1組のグループに分かれてさまざまなビジネスシーンを基に、大切なルールや考え方、マナーなどをすごく細かく講師の方に教えて頂きました。その中でも、挨拶の仕方や名刺の渡し方など、基本から新しい知識などを学び、自分のマナーの不完全さ、未熟さを痛感しました。これからは日々仕事の中でマナーを意識し、磨いていき取引相手様から尊敬されるビジネスマンになりたいと思います。

2つ目はコミュニケーション能力の重要性を学びました。グループの中でも様々な職場や職業の方々と共にグループワークや日本丸への宿泊などをしてきました。まったく知らない方々ともアイスブレイクや日々の交流を通して親しくなり、物事の考え方や業務を達成するためのコミュニケーションなどを考えることができた研修でした。社内でも今後は他部署の方々とも交流し、仕事をより完遂できるよう努力していきたいです。

3つ目はチームでのベクトル、努力する方向を揃える大切さを学びました。実施にグループで海上にボートで出て行きカッターを行った際に息が合った

漕ぎ方が一番の推進力を生み出すことに気がきました。実際、会社は大人数で構成される組織であり、方向となる経営や仕事の方針がずれると利益を追及できなくなります。そのため、今後は他部署の方々の意見に耳を傾け、コミュニケーションを計り、より足並を揃えてお客様に誠実で高品質なサービス、商品を提供できるよう日々、努力を重ねていきます。

最後に、日本丸の実技と講義を組み合わせた研修から多くの気づき、未熟さを痛感しました。この研修の教訓を将来も持ち続け、いつまでも初心を忘れず日々の生活の中で意識していきます。



〈報連相ロールプレイ〉

三波工業株式会社  
(一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会)  
山村 勇志さん

この2日間の研修を通して、私には社会人として責任を持ち、職場で活躍していくための能力や基礎、マナーなどが身に付いていないことを大変痛感することができ、良い経験を積むことができました。

佐々木先生がご指導くださった「ビジネスマナー講座」では、社内、社外を問わず、社会人として最低限のマナーや職場内で徹底して行わなければならないことなど、様々な常識を学ぶことができ、大変勉強になりました。その中でも印象に残っているのは「報・連・相」や「5W 2H」※を意識して班で取り組んだグループワークです。私が学生時代の時には、このようなグループワークを行うことが少なく、私自身が苦手意識を持っていました。しかし、他社の方々とは当然かのようにこなしており、それを

見て「自分もこのようになりたい」と思うと共にやはり、私もまだまだ力不足であると強く思いました。他社の方々も年齢は違えど、同期であることには変わらないので、負けないう自分自身をしっかりと成長させたいと考えています。

そして、全体を通して感じたことは、コミュニケーション能力が必要だということです。今回の研修では社内の方だけではなく、他社からの新入社員も参加するものだったので、自分を売っていくには、先ほども言ったコミュニケーション能力が必要だと痛感しました。

この研修で学んだ事や反省するべき点を活かして、いち早く活躍できるよう精進して参ります。

※「報・連・相」や「5W 2H」…5W 2H (When, Where, Who, What, Why, How, How Much) の重要性をふまえて「報告・連絡・相談」をロールプレイで学びます。

## 東洋ガラス機械株式会社

(鶴見区工業会)

### 鶴田 拓土さん

私は、今回の新入社員合同研修を経験して得たものは3つあります。

1つ目は、ビジネスマナーについてです。なぜビジネスマナーを挙げた理由は、社会人としての基礎であり、必要不可欠なものだと改めて学ぶことができたからです。この講義では、実際に実践を行って学ぶことができたため、自分ではわからない欠点を見つけることができました。また、必要不可欠なビジネスマナーも学ぶことができました。研修で終わるのではなく、テキストの見直しや実践を通じてよりビジネスマナーを身につけていけたらと思いました。

2つ目は、登橋訓練を通じて挑戦する大切さを学びました。登橋訓練を行う前は、緊張と高さを見てやめたいと思っていました。しかし、ここで逃げたら今後も逃げる人になると思ったため、挑戦をしました。その結果、途中でやめることなく成功を達成することができました。このことから緊張が不安なことでも挑戦することが大切であると学び、今後の仕事でも大切にしていきたいと思いました。



〈マスト登り〉



〈甲板磨き〉



〈バウスプリット〉

3つ目は、講義でのグループディスカッションやカッター訓練での協力する大切さ、コミュニケーションの大切さについてです。講義では、ビジネスマナーのメリットデメリットの案を班で出すグループディスカッションを行いました。その時は初対面で緊張はあったのですが、上手くコミュニケーションを取ることができ、まとめることもできました。また、カッター訓練では、自分を含めて6人で協力をしながらボートを漕ぎました。この2つから、協力やコミュニケーションがないと円滑に進まないのが大切なことだと学びました。

最後に、この研修を通じて様々な社会人に大切なことを学んだのでこの学んだことを忘れないようにするとともに足りないマナーを身に付けて会社に貢献していきます。



〈結索訓練〉

## 林精鋼株式会社

(戸塚泉栄工業会)

### 武藤 雄大さん

この2日間の研修のことは今後忘れることはないと思えるくらい内容の濃い2日間でした。

オリエンテーションを終えてグループワークなどが始まりましたが、最初は緊張していました。他社の初めて会う人達であっただけでなく年齢も違うためどのような距離感で進めていくか探りながらのスタートでした。マナー講習では、ビジネスマナーというものを初めて習い、社会人として覚えなければいけないことの多さに驚きました。グループワークを何回か行ったことでグループのメンバーとは少し打ち解け、意見の交換なども行えるようになりました。日本丸での居室準備では同じ部屋のメンバー全員で協力してベットメイクを行うことができるほどになりました。

2日目には登橋訓練でメインマストに登るなど人生で一度しかできないような経験ができました。カッター訓練では最後のグループでの活動ということでこの2日間で鍛えた連携力を見せることができたのではないかと思います。

この2日間の活動を通して自身の社会人としてのマナーなどはまだまだ足りないところだけであるというのを痛感しました。しかし名刺交換などは初めて学んだことでもあるため、この研修で学んだこ

とを活かしこれから実践していき成長していきたいと思いました。

また、今回2日目を共に歩んだメンバーはこれからは他社のライバルになるかもしれないし、どこかで同じ仕事で関わることもあるかもしれません。そんなメンバーと協力して様々な活動を行ったことを忘れずに、今後の社会人生活を歩んでいきたいと思いました。



〈カッター訓練〉



〈認定書授与〉

## 新入社員合同研修会についてのアンケート 令和7年度 5社/6社 回答

### 1 今後もこの研修会を利用しますか

- ①利用する 4 ②利用しない 0 ③わからない 3  
ご意見 (他社の同世代の方と親交を深められる点で大変有意義な研修だと感じました )

### 2 新入社員に研修を受けさせたことについて

- ①良かった 5 ②悪かった 0 ③その他 0  
ご意見 (新入社員が少ないとロールプレイング等のプログラムが組めないため集合研修は助かります) (常識的なところを確認する場と考えています)

### 3 研修内容について新入社員から感想をお聞きになったもの

- ①日本丸の訓練 (マスト登り、カッター訓練等) 4  
②マナー研修 (名刺交換・電話対応) 3  
③ロールプレイ (報連相) やグループ討議 3  
④日本丸の宿泊 2  
⑤他社の新入社員との交流 0

### 4 宿泊について

- ①日本丸への1泊2日が良い 4  
理由 (宿泊を経験し他者とのコミュニケーションを図る)  
②2日間の通いの方が良い 1  
理由 (朝食が少し残念、ベッドが狭い)

### 5 令和8年度の研修日程について

- ①4月2, 3日 (木・金) がよい 2  
②4月7, 8日 (火・水) がよい 1  
③その他 2  
ご意見 (入社すぐが良い)

### 6 新入社員合同研修会に対するご意見・ご感想、期待すること等をぜひお聞かせください。

- ・日本丸の船内で過ごせたことは貴重な体験、他社の新入社員との交流も刺激になった
- ・開催は入社2週間後くらいにしてほしい
- ・参加者本人から充実した二日間だったと聞きました。新社会人としての心得を修得するとともに他社の方と交流を深めて欲しいと思っていたので会社としても満足しました。参加者の人数・規模もちょうど良いと感じました。
- ・グループ討議を主にお願したい。グループでの話合はまとめの仕方を経験して業務の進め方、他人との調整を覚える

# 令和6年度 新入社員フォローアップ研修



〈研修の様子〉

令和7年2月19日(水)に新入社員等若手社員フォローアップ研修を実施しました。この研修は、入社後を振り返り、自分の仕事の進め方を再認識するとともに、自分の強みや課題を客観的に認識し、前向きなマインドを構築するとともに他社の同年代の人たちと交流することを目的に開催しています。特に

## 【研修カリキュラム】

### 研修カリキュラム

- 【午前】・入社後を振り返って自分の仕事の進め方を再認識する
- ・自分の職場を振り返って仕事上の問題点や克服法を参加者で共有する
- 【午後】・クレーム対応の実践でビジネスマナーに基づく話し方の再認識
- ・ハイポイントインタビューで自分の強み課題を客観的に認識する
- ・前向きなマインドの構築のために、「信念を言葉化」する

クレーム対応について学びたいという声が多く、座学だけでなくクレーム電話対応を録音し受講者同士が評価し合うなどの実践も学びました。

受講生の皆さんが、前向きなマインドを持って職場で活躍することを期待しています。

今回は3社5名の参加がありました。

## 新入社員等若手社員フォローアップ研修についてのアンケート結果

- |  |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <p>1 どのような成果があったと感じますか<br/>自分を見つめなおす機会になった</p> | 5 | <p>3 今後キャリアアップを図るうえで何が重要だと感じていますか (複数回答)</p>                                       |  |
| <p>2 今回の研修について<br/>期待通りだった</p>                 | 5 | <p>①課題意識を持った日々の仕事の中でのトレーニング 4</p> <p>②上司や先輩による指導、支援 2</p> <p>※その他の回答：作業スピードの改善</p> |  |

## ◆ 会員情報交換 ◆



# まごころリフォーム 大坪工業株式会社

■塗装工事 ■防水工事 ■水まわり工事 ■建具工事 ■外構工事 ■屋根工事  
 ■内装工事 ■害虫・害獣駆除 ■新築・増築その他全般 ■介護保険の住宅改修

おうちのお困りごとがございましたら、ぜひご相談ください。

## ☎ 0120-600-450

〒232-0073 横浜市区永田南2-12-12  
神奈川県知事(般-2)第31505号



HPIは ↑  
こちらから!







# 地域工業会 事務局紹介

## ■一般社団法人 横浜北工業会

一般社団法人横浜北工業会は、昭和35年7月、当時の港北区内の製造業者47社が参加して、会員相互の親睦と工場環境の整備などについて協力し

ていくことを目的に「港北工業クラブ」としてスタートしました。

平成6年の分区により青葉・都筑の2



区を加え平成24年4月1日からは、「一般社団法人横浜北工業会」として、現在210社の会員がそれぞれの地域との係わりをもちながら、横浜市北部地域の産業振興に尽力しております。活動内容としては、行政・関係機関からの産業施策に関する情報提供、毎月経営や技術に関するセミナーの

開催、会員の受発注促進やビジネスマッチング支援、会員交流を通じたネットワーク構築、労働保険事務代行など工業会としての新たな魅力づくりに積極的に取り組んでいます。

事務所のある「なかやまラブニール会館」の最寄り駅はJR横浜線の中山駅。地下鉄グリーンラインは始発駅と利便性が高く、商業施設の充実・公園の数も多くファミリー層に人気の地域です。

また、近隣には港北IC、横浜青葉IC、国道246号、国道16号と交通の便も抜群に良い地域です。また、県下最大級の工業技術・製品の展示会である「テクニカルショウヨコハマ」への参加などを通じ、



事務局長の長嶋さん

会員企業の販路開拓や企業PRを支援しています。

## ■戸塚泉栄工業会

昨年創立40周年を迎えた戸塚泉栄工業会は、昭和58年に「戸塚区工業会」として結成された戸塚区、泉区、栄区を中心に111社で構成する個性と

活気ある団体です。市経済局をはじめ区役所、警察、消防署などの公的機関等との連携を取り、また、製造業



事務所ビル外観

のみならずサービス・金融・保険・飲食・葬祭など多彩な業種を加え、地域活性化情報交換会を年2回開催し地域に根差し活動しています。

工業会のスローガン「モノづくりからヒトづくりマチづくりへ、そして未来づくりへ」は、製造業の枠を超え「ものづくり産業」としての結びつきを構築し、隣接から「近接」へと範囲を広げ、より大きなネットワークを構築する原動力となっています。様々な人たちが寄り添い英知を集め、

地域の力そして企業の利益にもつながる「地域活性化のプラットフォーム」を作り始めています。

また、理事が先頭に立ちそれぞれの役割を發揮、フラットな組織で意見交換を活発にする委員会制への移行。戸塚区の魅力である「柏尾川桜並木」の景観を将来に継承していく取り組みで、区と協力し保全・再生・資金集めと新たな取り組みを始めています。

毎年開催している「戸塚ものづくり自慢展」では、地域に根差しして経済を支える「ものづくり企業」が多く出展いたしました。金属を



事務局長の宮下さん

削る特殊な技術や環境に配慮した製品づくりなど、高度な技術や熱意をもって独創的な製品を生み出す「ものづくり企業」を「見て」「知って」「魅力を感じて」もらいたい！そんな思いから戸塚ものづくり自慢展を開催しております。

# 令和7年度 横浜市予算に対する産業振興に関する要望についての回答

市工連では昨年秋、令和7年度の横浜市の予算編成に向けて、市内の産業振興を図るための政策提言及び要望をまとめ、要望書として提出しました。

このたび、横浜市から要望に対する回答がありました。重点要望の回答要旨のみ掲載しますので、全文については市工連のホームページをご覧ください。

## 【重点要望】

### I 操業環境の改善

#### 1 都市計画・建築・環境

##### (1) 工場緑化の負担の軽減

###### 【回答】

- ・工場の緑化率は「緑の環境をつくり育てる条例」に定め、壁面緑化の基準については、令和6年度より緑化地域制度に準じ、鉛直投影面積で算出できるよう緩和している。太陽光パネルについては、緑化施設の算入対象としない。
- ・緑化への支援については、横浜みどり税を財源の一部とした「横浜みどりアップ計画」により、法令等の基準以上の緑化を行う場合に助成。

### II 販路拡大

#### 1 横浜市の認定・認証制度

##### (1) 各認定・認証制度が連携した企業のブランド力を高める取組の推進及びPR

###### 【回答】

- ・「横浜グランドスラム企業表彰」は、表彰自体をPR材料としていただけると考えおり、1事業者あたり1回限りの表彰となるため、上位ランク表彰制度の創設は検討していない。
- ・「エコアクション21」については、自治体が主体となって、エコアクション21の認証・登録をサポートする「自治体イニシアティブ・プログラム」に申し込んでいる。本プログラムにより市内企業が認証・登録を行うためのコンサルティング費用等の軽減に取り組むなど、更なる認証取得の促進を図っていく。

##### (2) 各種認定・認証取得のインセンティブの拡充

###### 【回答】

- ・各認定・認証制度の継続・発展に向けて、申請手続きやインセンティブの見直しを引き続き検討する。
- ・「横浜市中小企業融資制度」の「SDGsよこはま資金」について、横浜グランドスラム企業表彰

のインセンティブとして、信用保証料を、全額助成している。

- ・一部の委託契約について、「横浜型地域貢献企業」であることを条件にしてインセンティブ発注を実施している。
- ・委託・物品契約におけるインセンティブ発注の対象や発注件数については、入札の競争性の確保及び入札・契約状況等を踏まえ検討する。

##### (3) 横浜型地域貢献企業の審査基準等

###### 【回答】

- ・研修受講から認定までの申請フローが複雑かつ長期化しており、申請企業にとっても負担が大きいと認識している。次年度以降の手続きについては、eラーニングによる研修の導入や研修内容の見直し、申請手続きの簡素化などを行う。

##### (4) 各種認定・認証制度の導入メリットのさらなる明確化

###### 【回答】

- ・各種認定・認証制度の概要やメリットについては、「横浜市中小企業サポートガイド」にまとめて掲載し、冊子及び本市ウェブサイトにて周知を行っている。

##### (5) 手続きの簡素化(横浜グランドスラム企業表彰)

###### 【回答】

- ・横浜グランドスラム企業表彰の対象となる各認定・認証を維持するためには、制度ごとに継続の手続きを行う必要があり、事業者の事務負担が大きいため、令和6年度に、各認定・認証において認定期間の延長や添付書類の見直し等を実施した。

#### 2 公共事業発注の仕組み

##### (1) 市内中小企業への優先発注

###### 【回答】

- ・工事の発注については、「横浜市中小企業振興基本条例」に基づき、市内経済の活性化の観点から、市内中小企業者への優先発注を基本方針

としている。今後も、適切に分離・分割発注をすることにより、中小専門事業者の受注機会の確保を図っていく。

(2)地域貢献企業等へのインセンティブ発注

【回答】

- ・一部の委託契約について、「横浜型地域貢献企業」であることを条件にしてインセンティブ発注を実施している。
- ・災害協力事業者名簿の現在の認定対象は、災害時の協力に係る協定に基づく協力隊員名簿に登録されている事業者、又は台風、降雪時及び地震発生時等の緊急災害対応に協力した事業者である。認定対象については、入札の競争性の確保及び入札・契約状況を踏まえ、関係区局と連携し検討していく。
- ・横浜型地域貢献企業の認定企業と横浜グランドスラム表彰企業は重複することから、横浜グランドスラム表彰企業に対するインセンティブについては、検討していない。

(3)地元企業が数多く参加する異業種JVの推進

【回答】

- ・令和4年度に設立した「横浜PPPプラットフォーム」の取組を通して、企業の皆様のニーズを確認しながら、魅力的な事業を創出し、企業同士のビジネスマッチングを強化し、参画に向けた環境づくりを進める。
- ・これまで導入実績のない複合施設の再整備や市内企業が参画しやすい比較的小規模な案件の創出を図るとともに、小規模な案件においては応募グループに市内企業を含めることを必須要件

とし、市内企業の参画を促進していく。

(4)適正価格での発注

【回答】

- ・物品・委託等の予定価格は、物価や人件費等の上昇を適切に反映するように努めている。
- ・工事の予定価格は、積算基準に基づき、直近の市場における労務単価及び資機材等の取引価格等を適切に反映している。契約後に著しい単価等の高騰があった場合には、スライド条項の適用により請負金額の変更にも対応している。

(5)物品・委託契約等における最低制限価格等の導入

【回答】

- ・令和7年4月以降に履行を開始する機械設備保守、電気設備保守及び通信設備保守の委託契約について、新たに最低制限価格制度を導入する。

III ものづくりの活性化に対する支援

1 中小企業の経営支援

(1) 地域工業会支援

【回答】

- ・地域工業会の皆様は、日頃より研修や勉強会、企業間のマッチング、区と連携した地域におけるものづくりの魅力を発信するイベントの開催など、各種事業を実施しており、本市における工業振興の重要な一翼を担っていただいております。「ものづくり魅力向上助成金」については、引き続き継続する。
- ・制度の運用方式については、より活用しやすい助成金となるよう検討していく。

◆ 会員情報交換 ◆



**看板等も施工いたします**

神奈川県屋外広告業登録 第1970号  
横浜市特例屋外広告業届出 第2471号



印刷 デザイン 製作

3Dスキャニング  
モデリング

# 有限会社 双葉印刷所

〒236-0002  
横浜市金沢区鳥浜町2-13  
TEL 045-353-8531  
FAX 045-353-8534  
www.futaba-printing.co.jp





つなごういそが(みらい) YOKOHAMA 横浜健康経営  
金沢区活性化委員会 地域貢献企業



屋外広告物  
デザイン施工



DM発送代行

# 市工連からのお知らせ

## PR動画作成支援補助事業のお知らせ

市工連では、中小企業における人材確保を目的として、若者に対する製造業等の理解を深め、興味を持てるようなPR動画を作成し、見てもらうことで製造業等への若者の就職を促進し、ものづくりの担い手となる人材の採用を行うためのPR動画制作費用の一部を補助しています。

制作した動画は市工連のホームページ上に企業PRとして掲載しています。→→→→→



令和7年度は届け出順に受け付けを開始し、補助限度額に達し次第、受付を終了いたします。詳細は市工連のホームページをご覧ください。

PR動画作成にご興味のある企業様は、ぜひご利用ください。

お問合せ (一社)横浜市工業会連合会 TEL 045-671-7051

## 技術者育成支援事業のお知らせ

市工連では、「技能士」となるための、技能検定の受験費用を負担した市工連会員企業に対し、受験手数料や受験前に受けた講習会の費用などについて補助しています。

今年度もこの「技能士」になるために受験費用等を負担した企業に対し補助いたします。

※「技能士」は、技能検定に合格した人に与えられる国家資格です。



前期・後期の申請が出そろった10月1日に受付を開始しますので、受験票の写しや、領収書の保管等をお願いいたします。

申請受付は、先着順です。申請締切は令和7年3月17日(月)ですが、予算に達した時点で募集を締め切ります。

お問合せ (一社)横浜市工業会連合会 TEL 045-671-7051

## ◆市工連事務局の紹介◆



令和7年4月1日から 吉田 雅彦(専務理事)と道園 和信(産貿ホール担当課長)が新たに加わり、新しい体制となりました。今後ともよろしく申し上げます。

前列左から吉田専務理事、浅葉総務部長  
後列左から伊澤課長、中根主事、道園課長

# 横浜グランドスラム企業表彰者 会員紹介



令和7年度の「横浜グランドスラム企業表彰式」が、6月26日に横浜市役所で行われました。市工連企業からも8社が表彰を受けました。

横浜グランドスラム表彰は、働きやすい職場づくりや、健康経営、SDGsの達成など、社会のニーズに応え、地域に貢献しながら経営に取り組む企業を応援することを目的とし、横浜市が実施する4つの認定・認証制度（横浜型地域貢献企業、よこはまグッドバランス企業、横浜健康経営認証、横浜市SDGs認証制度”Y-SGDs”）を全て取得した企業を対象に表彰するものです。

## 令和7年度表彰企業

No.	工業会名	事業所名	本社または所属事務所	事業内容
1	(一社) 横浜金沢産業連絡協議会	雨宮自動車工業(株)	金沢区	自動車整備業
2	戸塚泉栄工業会	石井造園(株)	栄区	造園
3	(一社) 横浜北工業会	(株)オースズ	港北区	金属製品製造業
4	横浜市金沢団地協同組合	(株)コーケン	金沢区	コンクリート構造物等のライニング工事
5	南事業会	(株)小俣組	南区	総合建設、老人ホーム経営
6	鶴見区工業会	(株)筒見工務店	鶴見区	建設業
7	南事業会	馬淵建設(株)	南区	建設・不動産事業
8	みなと工業会他	横浜信用金庫 (※本店営業部)	中区他	銀行

## 【参考】 令和6年度表彰企業

No.	工業会名	事業所名	本社または所属事務所	事業内容
1	神奈川工業会	京浜電設(株)	神奈川区	電気・通信設備
2	横浜西部工業会	昭和建設(株)	保土ヶ谷区	建設業
3	戸塚泉栄工業会	(株)信友建設	戸塚区	建設業
4	(一社) 横浜金沢産業連絡協議会	(株)大成ERC	金沢区	人材派遣業、有料職業紹介・求人広告
5	磯子事業会	日興テクノス(株)	磯子区	IT・ネットワーク機器企画・販売他
6	南事業会	(株)濱田園	南区	建設業

※横浜グランドスラム企業表彰は令和5年度に創設され、5年度には29の市工連企業が表彰を受けています。  
詳細は、<https://www.y-shikouren.or.jp/wp/grandslam>

横浜グランドスラム企業表彰についてはこちら（横浜市HP）

→ <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/other/grandslam.html>



# 横浜市経済局からのお知らせ

## ■脱炭素取組宣言事業者が制度開始から約10か月で5,000者を突破しました！



横浜市では、市内事業者の皆様の脱炭素化のスタート段階として、身近な省エネ活動を含めて事業者が自ら脱炭素化に取り組んでいることを本市のWebサイト上で宣言する“脱炭素取組宣言制度”を2024年6月に創設しました。宣言をきっかけに、中小企業の皆様の脱炭素化の取組への意識や意欲を高めていただくことを目的としています。さらに、宣言を行うことによる様々なメリットもご用意しております。

ぜひ宣言をして、横浜市と一緒に脱炭素化に取り組みましょう！

宣言は横浜市 HP から  
(※所要時間  
3~5分程度)

### 脱炭素取組宣言をすると…

- \* 「脱炭素取組宣言書」や「ロゴマーク」が使用可能！
- \* PR用のロゴステッカーをお送りいたします。
- \* LED照明、空調設備などを導入する際の費用を補助！

### 脱炭素化のメリット

- \* 光熱水費などのコスト削減
- \* 企業価値の向上による取引先拡大、人材確保

## ■省エネ診断支援補助金を受付中です！

事業者の皆様が脱炭素化に取り組む第一歩として、まずは自社のCO2排出量などを把握してみませんか？省エネ診断を受診する際の費用を実質ゼロとし、脱炭素化に取り組む意欲のある企業の行動を後押しします。

### 横浜市省エネ診断補助金の概要

- ◆ 補助額上限：50,000円
- ◆ 補助率：10/10（※消費税及び地方消費税相当額は除く）
- ◆ 補助経費：経済産業省資源エネルギー庁が実施する「中小企業等エネルギー利用最適化推進事業」における省エネ診断の受診費用のうち、事業者負担額を補助



詳細・申請は  
横浜市 HP へ

## ■公益財団法人横浜企業経営支援財団(IDECC 横浜)が市内中小企業の脱炭素化を支援します！

IDECC 横浜では、中小企業の皆様の脱炭素化に向けた取組を実践いただくための支援として、「訪問支援」および「伴走支援」の申込を受け付けています。脱炭素経営アドバイザーによる現地訪問や継続的なサポートを無料で受けることができ、脱炭素化への具体的なステップを共に考え、実行をご支援いたします。

- 訪問支援**
- ◆ 訪問回数：1回
  - ◆ 横浜市の施策や、脱炭素取組宣言制度の紹介
  - ◆ CO2排出量見える化のアドバイス

- 伴走支援**
- ◆ 訪問回数：3回
  - ◆ CO2排出量見える化の実践
  - ◆ CO2排出量削減計画の策定や、取組PR・広報等のアドバイス

支援のお申込みは  
IDECC 横浜 HP の  
お問い合わせフォームへ



### 【お問い合わせ先】

(脱炭素取組宣言・省エネ診断支援補助金について)

横浜市経済局 中小企業振興課 TEL：045-671-4236 Mail：[ke-sengen@city.yokohama.lg.jp](mailto:ke-sengen@city.yokohama.lg.jp)

(脱炭素化訪問支援・伴走支援について)

公益財団法人横浜企業経営支援財団 イノベーション支援課 TEL：045-225-3733

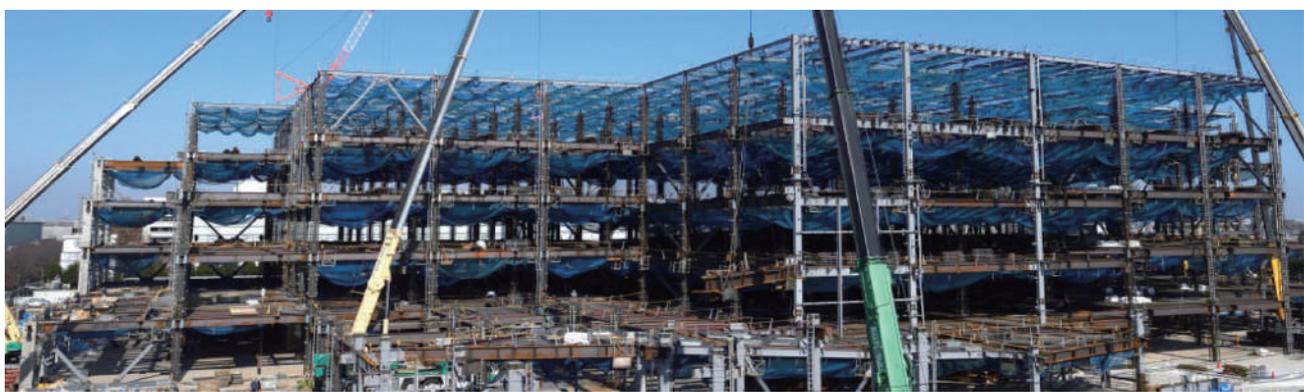
Mail：[datsutanso@idec.or.jp](mailto:datsutanso@idec.or.jp)

## 横浜と共に、90年

1935年、港とともに息づくこの街で船出して以来、戦前・戦後の激動を越えて横浜の都市と産業の成長を足元から支えてきました。

巨大物流倉庫から街を彩るランドマークまで――

私たちはこれからも、確かな品質と革新技術で横浜の発展を力強く支援します。



株式会社 **加藤組鉄工所**  
KATOH-GUMI STEEL CONSTRUCTION CO., LTD.



本社 横浜西口加藤ビル  
〒220-0004  
神奈川県横浜市西区北幸2丁目9番30号  
TEL 045-311-2141(代表) FAX 045-311-2143



もっと鮮やかに、もっと魅力的に。  
彩りのある高品質な光をすべてのお客様へ。

私たちは、商業施設向けショーケースや什器照明に留まらず、社員一人ひとりの成長を核に、お客様の「希望の光」となり、より豊かで持続可能な社会づくりに貢献するという強い意志のもと、挑戦し続けます。

生産  
続行

特殊用途の  
蛍光灯ランプを  
作り続けます



さまざまな場所で活躍しています

LED照明

冷ケース用照明  
施設用照明



LEDランプ



LED照明器具

お問い合わせ

 **プリンス電機株式会社**

〒230-0024 横浜市鶴見区市場下町8-25  
TEL. 045 (501) 4704

<https://www.prince-d.co.jp>



Asahi



## 木のように、CO<sub>2</sub>を食べる自販機。

「自販機でCO<sub>2</sub>を減らせたらおもしろいよね」

社内の何気ない会話から、日本初の「CO<sub>2</sub>を食べる自販機」は生まれました。

実は自動販売機は、飲み物を冷やしたり温めたりするために、周りの空気を吸い込んでいます。

そこで内側に、工場の廃棄物を再利用してきた、CO<sub>2</sub>を吸収する素材を搭載。

いつも街にいながら、CO<sub>2</sub>を集めているのです。

その働きは、1年あたり1台でなんとスギの木20本分（林齢56-60年）。

しかも吸収したCO<sub>2</sub>は、資源として社会に役立てることができます。

街に森を増やすように、この自動販売機を増やしていけたら。

100年先の未来にも、ワクワクと笑顔をつなげていくために。

自販機は、自販木としてもがんばります。

アサヒ飲料は、脱炭素社会の未来へ、  
できることを自動販売機1台1台から。

100 YEARS  
GIFT

100年のワクワクと笑顔を。

アサヒ飲料